

単元	指導内容	主な評価規準	評価の判断資料
体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・体の調子を整え、体力の向上ができる。(ア) ・体を動かす楽しさを感じながら、仲間と豊かに交流できる。(ウ) 	ア【知識及び技能】 ①技能テスト
集団行動	<ul style="list-style-type: none"> ・集団隊形・姿勢・方向転換など 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団として、敏速かつ確かな行動が整然ととることができる。(イ、ウ) 	②定期テスト
スポーツテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・新体力テスト種目 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを理解し、意欲的に取り組むことができる。(ウ) 	③小テスト
陸上競技（短距離・リレー）	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なスタート方法、バトンパス 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にあった課題設定ができ、計画的に課題解決に努めることができる。(イ) ・より速く走ることを目指し、ベストを尽くすことができる。(ウ) 	④授業観察 イ【思考・判断・表現】 ①個人カード
バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的技能：パス・レシーブ・サービス ・集団的技能：カバーリング 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な個人的技能を習得することができる。(ア) ・集団的技能を用いてラリーを続ける楽しさを味わえる。(イ、ウ) 	②ゲームの参加状況 ③定期テスト
水泳	<ul style="list-style-type: none"> ・クロール・平泳ぎ・背泳ぎ ・25mタイム計測 ・30分間遠泳 	<ul style="list-style-type: none"> ・各泳法を正しく泳ぐことができる。(ア) ・長く、また、速く泳ぐことをねらいとして、自己の能力に応じて課題の達成に取り組むことができる。(イ、ウ) 	④授業プリント ウ【主体的に学習に取り組む態度】
器械体操	<ul style="list-style-type: none"> ・跳び箱またはマット運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種目の技がより円滑に行うことができる(ア) ・自己の努力や工夫によって課題解決に取り組み、その課題を達成した喜びを味わうことができる。(イ、ウ) 	①授業観察 ②個人カード
陸上競技 長距離走 ハードル	<ul style="list-style-type: none"> ・12分間走 ・インターバルトレーニング ・1500mタイムトライアル 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にあった課題設定ができ、計画的に課題解決につとめることができる。(イ、ウ) ・より速く走ることを目指し、ベストを尽くすことができる。(ウ) ・互いに協力し、自己や他の生徒の記録を計測することができる。(ウ) 	参考図書
	<ul style="list-style-type: none"> ・助走 ・踏切 ・空中フォーム ・着地 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な助走、踏切、空中フォーム、着地で「より遠くに」跳ぶことができる。(ア) ・自分にあった課題設定ができ、計画的に課題解決に努めることができる。(イ、ウ) 	
ダンス または バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な動き ・ヒップホップダンス ・創作ダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムをとらえ、全身を使って表現することができる。(ア) ・互いに協力し、励まし合い学習に取り組むことができる。(ウ) ・基礎・基本的なステップをふむことができる。(ア) 	『中学保健体育』 (学研) 『ステップアップ中学体育』 (大修館書店)
	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的技能：パス・キャッチング・ドリブル・シュート・ピボット ・集団的技能：ディフェンス・オフェンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・パス・キャッチング・ドリブル・シュート・ピボットをすることができる。(ア) ・勝敗に対して公正な態度で臨み、ゲームや競技を楽しもうとすることができる。(イ、ウ) 	
保健分野	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活と疾病の予防 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病などの予防や喫煙・飲酒・薬物乱用と健康について理解することができる。(ア) ・傷害の防止について理解することができる。(ア) 	
武道（柔道）	<ul style="list-style-type: none"> ・礼法・受け身・固め技・投げ技 ・基本動作・かかり練習・約束練習・自由練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道特有の礼儀作法の習得することができる。(ア) ・安全に留意し、仲間と協力して技の習得に努めることができる。(イ、ウ) ・基本動作と基本的な技を習得することができる。(ア) 	
ソフトボール または サッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的技能：キャッチング・スローイング・バッティング・走塁 ・集団的技能：連係プレー 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的技能を習得することができる(ア) ・集団で協力し合いながら勝敗を競い合い、楽しくゲームを進めることができる。(イ、ウ) 	
保健分野 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・傷害の防止 ・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 	<ul style="list-style-type: none"> ・傷害の防止と応急手当について知識と健康についての判断を身に付けることができる。(ア・イ) ・運動やスポーツが心身及び社会性に及ぼす効果について理解することができる(ア) ・運動やスポーツの学び方や安全な運動やスポーツの行い方について理解することができる。(ア) 	